

活動報告書（令和2年度）

ヘルスケア産業研究会

1. 会員数（令和3年3月末）
58企業・団体 77会員

2. 情報提供

ア 第1回セミナーの開催

日時	令和2年9月10日（木）午後2時から4時30分まで
会場	公益財団法人 富山県産業技術研究開発センター 技術交流ビル2階 研修室
参加者	26名（講師を含む）
内容	<p>○セミナー1</p> <p>演題 レーダーによる無拘束な運動計測とその高齢者の身体・認知機能 講師 公立大学法人富山県立大学工学部知能ロボット工学科 講師 佐保 賢志 氏</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">① レーダーによる運動計測・解析② 応用としての自動運転支援システム、健康情報モニタリング技術の研究開発③ 歩き方、座り方からの認知機能の評価への適用研究、転倒リスクの検知研究 <p>○セミナー2</p> <p>演題 非侵襲なヘルスケア・モニタリングのためのマイクロセンサ 講師 公立大学法人富山県立大学工学部知能ロボット工学科 講師 野田 堅太郎 氏</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">① MEMSを用いたマイクロ五感、力センサとマイクロセンサを用いたヘルスケアのためのセンサシステムの研究開発② 人間の運動・生体計測などに関する研究開発③ バイタル情報をモニタリングする非侵襲なセンサシステムで期待されているMEMSセンサの応用可能性 <p>質疑応答</p>



会場



挨拶



セミナー1



セミナー2

イ 第2回セミナーの開催

日 時	令和2年12月8日（火）午後2時から4時30分まで
会 場	富山県民会館 302号室
参加者	26名（講師を含む）
内 容	<p>○セミナー1</p> <p>演題 福祉・介護機器開発の高い高い壁と深い深い溝 講師 富山県立大学工学部知能ロボット工学科 教授 小柳 健一 氏</p> <p>概要</p> <p>① リハビリロボット開発における開発側の課題と対応 シーズ側とニーズ側双方のコミュニケーションの重要性</p> <p>② 腕回り・肘回りトレーニング機器、手指関連研究 パワーアシストロボット、アクチュエータ開発と関連する研究</p> <p>○セミナー2</p> <p>演題 厚生労働省・介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会より 講師 一般社団法人富山県作業療法士会 会長 齋藤 洋平 氏</p> <p>概要</p>

	<p>① リハビリの職種・ロボットによる運動療法普及の背景</p> <p>② 日本の介護問題、高齢化問題と介護ロボット</p> <p>③ 厚生労働省介護ロボットニーズシーズ連絡協議会と富山県協議会について</p> <p>○セミナー3</p> <p>演題 介護現場の生産性をあげるための取り組み事例報告</p> <p>講師 社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑 副理事長施設長 岩井 広行 氏</p> <p>概要</p> <p>① 介護現場の実例紹介</p> <p>② 介護現場はどうなっているか</p> <p>③ 介護現場の責任者はどうしようと思っているか</p> <p>質疑応答</p>
--	---



会場



挨拶



セミナー1



セミナー2



セミナー3

ウ 3回セミナーの開催

日 時	令和3年2月24日（水）午後2時から4時30分まで
会 場	公益財団法人 富山県産業技術研究開発センター 技術交流ビル2階 研修室、Webセミナー形式
参加者	28名（講師を含む）
内 容	○セミナー 演題 誰もが介護できる社会をつくる～株式会社 a b a の挑戦～ 講師 株式会社 a b a 代表取締役 宇井 吉美 氏 概要 ① 排泄ケアシステム「H e l p p a d」の開発背景 ② 「H e l p p a d」の特徴 ③ 株式会社 a b a の研究開発、企業ポリシー ○質疑応答

3. 勉強会

ヘルスケア関連製品開発を進めるため、テーマを絞り、関心を持たれている会員を対象に勉強会を開催した。

ア 第1回勉強会の開催

日 時	令和3年2月22日（月）午後3時から午後5時30分まで
会 場	Web会議形式
参加者	18名（講師を含む）
内 容	テーマ 見守りシステムにおける電波技術の可能性について ○電波センシングによる生体情報のセンシング、認知機能評価 講師 公立大学法人富山県立大学工学部知能ロボット工学科 講師 佐保 賢志 氏 概要 ① レーダーによる運動計測およびレーダー情報処理の基礎 ② ドップラーレーダー情報処理の基礎 ③ 人工知能応用 ④ ドップラーレーダーによる時間速度分布画像のメリット・デメリット ○意見交換

イ 第2回勉強会の開催

日 時	令和3年3月17日（木）午後2時30分から午後4時30まで
会 場	Web会議形式
参加者	19名（講師を含む）
内 容	テーマ 電波センサによる生体情報のセンシングによる認知機能評価 ○ドップラーレーダー技術の健康情報学応用 講師 公立大学法人富山県立大学工学部知能ロボット工学科 講師 佐保 賢志 氏 ① ドップラーレーダー技術の健康情報学応用 ② マイクロ波ドップラーレーダーによる遠隔での記憶障害スクリーニング ○意見交換

4. コーディネーター等によるコーディネート活動

研究会参加の勧誘を行うとともに、企業間や産学官のマッチングに向けたコーディネート活動を実施した。

訪問企業・団体数／164企業・団体(累計)

5. ニーズ調査・シーズ調査

ア ヘルスケア関連製品開発を進めるため、ヘルスケア産業研究会会員企業（ユーザー側及び機器開発側）等への聞き取り調査を行った。

シーズ調査 19件

ニーズ調査 9件

イ 介護現場での詳細なニーズを把握するため、県内の介護施設や福祉施設へ介護福祉機器に関するアンケート調査を実施した。

アンケート実施施設（特別養護老人ホーム等）225施設、回答施設 41施設

6. 研究開発プロジェクト

ア ヘルスケア製品開発加速化事業

産学官が連携して自社の固有技術シーズを源泉とする、新たなヘルスケア関連商品製品の試作・実証を支援する。

企業名	研究の名称
第一編物株式会社	ナノファイバー模擬皮膚材をベースとしたヘルスケア用品の開発

株式会社オーギャ	歩行訓練用ポータブル足裏荷重分布検出センサセットの開発
株式会社エクシズ	一般向け嚙下機能スクリーニング装置「試してごっくん」センサ及びシステムの開発

イ ヘルスケアイノベーション・チャレンジプログラム

利用者視点による製品の開発に向け、「とやまヘルスケアコンソーシアム」が設定した介護施設等の現場ニーズに基づく、具体的な製品テーマに関する製品開発を支援する。

企業名	研究の名称
ケーシーアイ・ワープニット株式会社	経編編成技術を用いた介助側の身体負荷につながる介護服の開発
式会社シキノハイテック	画像処理・各種センサ技術を用いた高性能見守りシステムの開発

以上